



～ 創立 120 周年に寄せて～

会長 石原 信雄

一般社団法人 日本倶楽部 120周年記念祝賀パ



日本倶楽部は、120 年前の明治 31 年 6 月 6 日に設立されました。明治維新後約 30 年が経過し、日清戦争にも勝利し、ようやく世界の注目を引くようになってきたときでした。

近衛篤磨、岡部長職、鳩山和夫の 3 氏の主唱のもとに日本倶楽部設立の話し合いがもたれ、明治 30 年 12 月、「日本倶楽部設立趣意書」が発表されました。この設立趣意書によりますと、

「人生の業務は各々その途を異にし、千差万別なりと雖も、その国民福祉を増進せんと欲するは、即ち一なり。故に吾人はつとめて社交上の親和を図り、その目的を達せざるべからず。顧みるに我が国と世界列国とは、今や修好日に加わり、外人の来遊するもの少なからず。このときに当たり、内は我が邦人の親和を図り、外は、外人との交際を密にし、彼我情交の通融を議する機関を設くるは、けだし刻下の急務に属す。これ、日本倶楽部を設立せんと欲する所以なり。」

とされています。なんとも格調の高い、素晴らしい呼びかけであったと思います。そして、翌明治 31 年 6 月 6 日 発起人総会を開き、初代会長に岡部長職氏、副会長に長岡護美氏、澁澤栄一氏を選任し、日本倶楽部は発足しました。

設立当時、会員は政界では大臣経験者、官界では勅任官級以上、財界人では社長級、軍人では将官級とまことにレベルの高いものであったようで、会員数は 100 名強でスタートしました。その後会員数は順調に増加し、ピーク時、昭和 52 年 3 月には個人会員 1340 名を数えるに至りました。昭和 25 年に法人会員制度が導入され、また、平成 13 年には、女性会員への道が開かれました。そして、今回、先月の会員総会の決議により、家族会員制度が発足しました。会員の奥様やご主人に簡易に会員資格を持っていただく制度で、会員親睦の場としての当倶楽部がより大きな輪とな

って行くことを期待するものであります。会員の高齢化もあり、法人推薦会員を含め個人の会員数は 507 名（6 月末現在）と多少減少しておりますが、当会の魅力を出来るだけ多くの方々に知っていただく努力を続けており、最近是新入会員も増加しているのは嬉しい限りです。また、会員の平均年齢も若返っております。

当倶楽部の 120 年を振り返りますと、関東大震災や先の大戦、そして戦後の混乱期と様々な困難もありましたが、会員、事務局が一致団結しこれらに立ち向かって参りました。当倶楽部設立の趣旨に沿って着実に歩みを刻んできたことを振り返り、誠に嬉しく思う次第です。歴代会長を始め、会の運営に当たられた会員の方々、事務局職員の方々に心から感謝致します。

今では、俳句や書道、囲碁、小唄、ゴルフ等様々な分野でのクラブ活動、多彩な講師陣による講演会や楽しい見学会、豊かな蔵書の図書室等々会員の皆様のご満足をいただいているものと思います。今後も会員の皆様の声を反映しさらに工夫をこらして参ります。

講演会は私も楽しみにほとんど毎回参加しております。振り返りますと、戦後の第 1 回の講演会は、まだ様々な混乱が続く諸物資も不足している中、終戦後 2 ヶ月足らずの 10 月 11 日に開催されました。当時喫緊の関心事項であった「原子爆弾について」という演題の、この分野での世界的な権威である仁科芳雄先生の講演でした。まことに時宜を得た講演会だったと思います。

その後講演会は定期的に開催されるようになり、現在では原則月 3 回の開催で、その時々に関心の深いテーマを選びその道の第 1 人者の方に講師をお願いしています。

先月 6 月には、120 周年記念講演として、ノーベル生理学・医学賞の受賞者でいらっしゃる大隅良典先生に「半世紀の研究を振り返って、日本の基礎科学の現状を考える」という演題で講演をしていただきました。誠に格調の高い立派なご講演で、深い感銘を受けました。

日本倶楽部は本年創立 120 周年を迎えましたが、120 年はヒトの人生で云いますと、2 度目の還暦ということになります。「大還暦」と云うそうです。大還暦をお祝いし、次の 60 年が日本倶楽部の繁栄の 60 年でありますよう心から祈念し、新しい 1 歩を踏み出したいと思います。

今後とも、会員の皆様のご協力をお願い致します。

～ 目 次 ～

創立 120 周年に寄せて(石原会長ご挨拶)	1	一般社団法人化について	15
120 周年記念パーティー・ロビー展示	2	120周年オープン麻雀大会開催される	16
記念講演会(大隅良典氏) 講演要旨	3	会員活動一覧	17
日本倶楽部の 120 年	9	日本倶楽部会員総会開催される	18
日本倶楽部の年表	11	大善寺及びワイン工場見学会	19
講演会の歩み・仁科芳雄先生と原子爆弾	12	講演委員会便り	20
日本倶楽部ゴルフ会と総理大臣杯	14	編集後記・他	24